

地域に愛されて、50周年！



青南だより

平成29年10月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

＜大盛況だった9月の二つの講演会＞

プロ・ナチュラリストの佐々木洋さんによれば、子どもが自然とかかわる意味は、①人間の思い通りにならない体験、②究極の癒し効果、③多様性を学ぶことでした。身近な昆虫についての話も興味深く、地区委員会の会長さんなど地域の方もお越しいただき、楽しくて子育ての核心にも触れる充実した内容でした。今度は子どもたちも含めて自然観察会ができれば、南青山の魅力をもっと発見できるのではないかと考えています。

吉村先生の足や靴に関する講演会は、委員の方々の周到な準備と、弟妹たちの託児があったこともあり、70人を越える参加者でした。終了後も10人以上が質問に押し寄せるほどで、皆さんの関心の高さを実感しました。すぐに靴を買い替えた方もいて、靴の正しい履き方を学ぶととてもいい機会となりました。引き続き足元からの健康教育を進めていきたいと思ひます。



佐々木さんのワンダーランドに引き込まれ



吉村先生の靴の話に聞き入る参加者

＜ぶうちゃんはどこに？＞

始業式で子どもたちや保護者の皆さんの前で、50周年の応援団長になると宣言し、体も鍛えると言っていたぶうちゃんでしたが、数日後から急に姿が見えなくなりました。そして、しばらくすると、ぶうちゃんから手紙があちこちに届き始めました。5歳の部屋には海から、4歳の部屋には宇宙から、3歳は森にいるよという手紙です。子どもたちは、いなくなったぶうちゃんを心配しながらも、きっとどこかで見守ってくれていると信じています。パワーが出そうな品物（鳴子やキラキラのテープなど）が届いて大騒ぎにもなりながら、手紙に書かれた励ましや期待の言葉もあって、覚え始めた踊りやかっこ、リレーなどを運動会でやってみることにになりました。今年の運動会はこのような形で始まりました。詳しい様子は学級だよりや運動会通信でお知らせします。さて、ぶうちゃんは帰ってきて、みんなの元気な姿を見てくれるでしょうか…。



うんとこしょ！どっこいしょ！抜けるかな？



きれいにペンキ塗ってくれてありがとう！

青南の 二十四節気

・・・神無月（かなづき）・・・

寒露（8日）… 空が澄み、柿の実が色付き始めます …

霜降（23日）… 数珠玉が色付いて取り頃になります …

彼岸を前に、幼稚園の周辺に赤と白の彼岸花がきれいな花を咲かせました。先日から金木犀が香り始め、秋の訪れを目や鼻を通して感じることができています。園庭のマテバシイのドングリや松ぼっくりもたくさん落ちて、子どもたちが喜んで拾っています。様々なドングリを持ってきてくれる子が多く、青山の自然が豊かであることを実感します。



お兄さんお姉さん、かっこいいね！